

## 今後の公共施設のあり方に関する勉強会の開催について

### 1. 坂井市公共施設の現状と課題 (坂井市 100 の改革 No14 より抜粋)

公民館、図書館などの社会教育施設、保育所、児童館などの児童福祉施設は類似団体と比較して施設の数が多く、統廃合を推進し公共施設を合理化しなければならない。

また、体育施設には、老朽化したものが多く、維持管理コストの増大はもとより、大規模修繕・改築等の必要が懸念される。

### 2. 勉強会の趣旨とポイント

#### 勉強会開催の趣旨

行政と市民が坂井市の現状を共有化し、公共施設の実態 (施設の状況や運営状況、利用実態やトータルコスト等) を様々な角度から整理・分析したデータを基に、これからの施設を通した行政サービスのあり方を市民の皆さんと一緒に考えていきます。



【市民】  
市の公共施設ってこんな状況だったのね。子どもも将来のためにも、しっかり考えなきゃね。

【行政】  
公共施設の実態を正確に把握し、市民のみなさんに伝えなくては…実態を見て、どう感じ、どのように考えてくれるだろうか。

#### 【環境・雰囲気】

- 市の現状と施設の実態を分かりやすく整理し、市民に情報開示する。
- 行政と市民が話し合いながら改善案をつくっていく。

#### 【検討事項】

- 利用形態の見直しによる効率的利用 例：保育所を老人センターに用途替
- 保有形態の見直しによる効率化 例：温泉施設を民間へ移譲
- スペースの効率的利用 例：公民館スペースの一部を介護予防拠点施設へ
- 運営面の効率化 例：公民館運営をまちづくり協議会に移管
- 集約化・合同化による効率化 例：旧町境に隣接する類似施設の統廃合 など

### 3. 勉強会の開催

市民にとって身近な公共施設の今後のあり方を模索していくという、重大な計画であることから、実りある勉強会となるよう、それぞれ立場の異なる組織において開催します。

① 行政内部(所管部局・施設担当者)の勉強会 23年1月13日・14日開催  
 これまでは、担当部局において現存する公共施設を「運営」するという事に重点を置いていましたが、これからは市全体として各施策の整合性を調整しつつ、限りある財源・資産を「選択と集中」により効果的で効率的に施設を「経営」することに転換していかなければなりません。利用者ニーズはもちろん、コスト意識や施設の延命化(耐震化・老朽化対策)といった、最小の経費で最良の施設サービスを提供するよう全職員が知恵を絞り「行政経営」を考えます。

② 行政と市民との勉強会 23年2月22日・23日開催



③ 行政と議会との勉強会 23年3月開催(予定)  
 市民の代表である議会において、市全体の様々な状況を踏まえ、公共施設の機能と役割を、今後どのように位置付けていくかを考えていただきます。

#### 今後の公共施設のあり方、見直し方針を定めた「公共施設マネジメント白書」を策定する

